

日本医学シミュレーション学会認定 第154回 DAM（困難気道管理）コース

日時：12月5日（金） 8：50～11：50

会場：ハンズオンセミナー会場2（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホールA）

実施責任者：小澤 章子（国立病院機構静岡医療センター麻酔科・集中治療部）

コースディレクター：木村 哲朗（浜松医科大学麻酔科）

インストラクター：太田 隆嗣（湘南鎌倉総合病院 麻酔科）、植木 隆介（兵庫医科大学 麻酔科学講座）、
小林 賢輔（浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科）、佐藤 暢夫（聖マリアンナ医科大学麻酔学）、
戸田 法子（仙台医療センター）、井本 眞帆（淡海医療センター）、
渡部 達範（新潟大学医歯学総合病院麻酔科）、小林 充（聖隷三方原病院麻酔科）、
楠 真二（県立広島病院 救命救急センター）、岩下 眞之（帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター）、
羽場 政法（ひだか病院）、守田 季郎（総合病院山口赤十字病院 麻酔科）、
池野 重雄（諏訪赤十字病院）、日下 あかり（福岡記念病院 救急科、麻酔科）、
太田 淳一（島根大学医学部附属病院集中治療部）、生田 義浩（熊本大学病院中央手術部）、
小澤 章子（NHO 静岡医療センター麻酔科）、木村 哲朗（浜松医科大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科）、
五十嵐 寛（浜松医科大学臨床医学教育学講座）

オペレーター：市川 美智華（浜松医科大学医学部附属病院 医療機器管理部）

セミナー概要

近年、気道管理器具や医薬品の進歩により気道確保の安全性が向上してきましたが、困難な気道確保症例がゼロになったわけではなく、日常的に気道管理を担っている麻酔科医は、いつ、どのような場面で困難気道症例に遭遇するかはわかりません。そのため、常に気道管理に関して修練を積み重ね、いざという場面に備えておくことが重要です。本セミナーでは、日本麻酔科学会（JSA）の Difficult Airway Management （DAM）アルゴリズムの考え方を基に実践的な技術や知識の習得を目標にハンズオントレーニングとシナリオトレーニングを行います。安全な気道確保のための正確な判断と適切な対応を習得したり、ご自身が体験した気道確保困難症例の振り返りを行う機会としてご活用ください。2004年の開講以来、麻酔科医を中心に約2,000名の医師が日本医学シミュレーション学会主催の本セミナーを受講し、インストラクターと共に全国の仲間との連携を深める場にもなっています。

患者様への安全な医療提供を目指して、気道確保について一緒に学びませんか。

申込：事前登録制

定員：12名

受講料：3,000円

備考：

今回は、豚の喉頭を用いたウェットラボも行います。